

## 第62回触媒化学融合研究センター講演会

産総研触媒化学融合研究センターでは、様々な分野で活躍している大学、公的研究機関、企業等の方々をお招きして講演会を開催することで分野の垣根を越えた連携の実現を目指しています。多くの方々のご参加をお待ちしております。

### 「炭素触媒を用いる有機合成」

<講師>

岡山大学 異分野融合先端研究コア

仁科 勇太 准教授



日時: 2018年9月26日(水) 16:00~17:00

場所: 産総研第5事業所 第2本館  
第4会議室(5-2 6603室)

#### <講演概要>

本講演では、金属を用いない固体触媒として、2次元炭素材料を紹介する。酸化グラフェン(GO)は、還元することでグラフェンになるため、グラフェンの前駆体として期待されている。逆に言うと、GOは非常に還元されやすい物質、つまり酸化剤であるといえる。これまでGOがアルコールなどに対して酸化剤として働くことが分かっている。一方、GOがアルコールの酸化触媒になるという報告もあり、反応剤(reagent)と触媒(catalyst)の区別ができていない。我々は、GOおよびその還元体(rGO)の役割として、反応剤と触媒の違いを明確にし、反応メカニズムに基づいて酸化反応や還元反応、およびカップリング反応を開拓した。

【問い合わせ先】 触媒化学融合研究センター 担当: 白川 TEL:029-861-2763

E-mail:irc3-kouenkai-ml@aist.go.jp HP: http://irc3.aist.go.jp/